

安房地域が目指すべきは、都会の人達が理想とする自然と共に生きるライフスタイルを実現できることだと考えています。空き家・施設の有効活用や公共交通網の整備を進めたり、海岸の利活用には県との交渉も必要です。その上で、館山・安房地域に注目を集める効果的なPRも欠かせません。

こうした中、人口が密集して家賃等の生活コストも高い都会では特に閉塞感が強く、これまでの生活を見直す人も増えています。地方への移住や二地域居住の増加、リモートワークの進展などは「都会に近い田舎」にとってチャンス到来でもあります。仕事をしながら休暇も楽しむワーケーションも広まりつつあります。

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大が長期化し、新しい生活様式（「3密」の共生）が提唱される等、時代が大きく転換しています。

ピンチをチャンスに！



9/26復興イベントin布良

📺 Youtubeでイベントの動画が観られます



そんなしたたかさも必要です。へと広げていく、

◆布良の復興支援の意義

台風15号で最も被害の大きかった布良の名前が全国的に何度も放映されました。通常、地域の名前を全国に知らしめるのはとても大変です。人々の記憶に残っているうちに、再建に必死で頑張っている姿をみてもらうことで、共感を得たり関心を持ったり、機会があれば行ってみたいと思ってもらえる。その繰り返しでファングが増えていくはずなんです。

先ずは一番困難な地の再生を果たして「布良ブランド」を広め、地域活性化の動きを館山・安房地域全体へと広げていく、

～館山の未来を語ろう～ 意見交換会

日時：11月14日（土）14時

場所：コミュニティセンター 1階

ゲスト：川名まひろさん（館山市消防団女性部長）

テーマ：災害への備えと女性消防団の役割

➤ できれば事前にご予約下さい

メール muroatsumi@gmail.com

29-5337 (FAX) 29-5333 (TEL)

👉 ご参加できない方の事前質問もお受けします

➤ 当日は入口で体温測定を行います

マスク着用、体調管理をお願いします

➤ ネット配信も予定しています (Youtube)



皆さんの集まりにも、お声かけ下さい♡

『市民の皆さんの声をできるだけ沢山お聞きしたい』といつも思っています。私の思いも知って欲しい。。。

3人以上お集まり頂ければ “いつでも・どこでもミニ集会”やります。何でも好きなテーマでOKです！

お茶会とか、飲み会などにも、お気軽にお声かけ下さい。

日時：日程は応相談。時間は概ね1～2時間程度

場所：館山市内の公民館や集会所、その他

飲食店の場合には料金割り勘をお願いします

テーマ（例えば・・・）

- 身の回りのお悩み相談
- 館山・安房地域の魅力と課題
- 防災や感染症対策について
- 安房での仕事・働き方
- 介護や子育てのこと
- 簡単スマホ講座

“あつみの部屋” 公式LINE始めました！

色々な情報を発信しますのでよろしければ “お友達追加” お願いします♪

発行：むろあつみ後援会

〒294-0307 館山市波左間1049-2

TEL 0470-29-5333 FAX 29-5337

Email muroatsumi@gmail.com

LINE 友だち追加



～9月議会の一般質問～



むろあつみの

ど〜んと！

まるごと“館山”

台風15号と令和元年度決算

台風被害からの復旧が続く中、9月議会では、令和元年度決算の認定のための審査があり、決算審査特別委員会での質疑後に賛成討論を行いました。

令和元年度の財政運営は、突然の台風15号という大災害に見舞われ、歳出が22%増の214億円と大きく膨らむ異例の状況です。災害関連の経費は108億円にのぼりますが、このほとんど95億円が令和2年度に繰り越されました。

非常事態での決算については評価が難しいですが、9月以降は災害支援を最優先に業務を執行されていたことを評価したいと思います。

一方、職員の皆さんは、大きな心理的ストレスを抱えながら長時間の勤務に従事されていることと推察され、感謝と共に心と身体の状態がとても心配です。監査委員の意見書では**時間外勤務手当は前年度の約3倍**、災害救助費分を除いても40%増であり**心理的ストレスが増大し、長期療養者は増加傾向にある**との指摘もあります。職場環境の整備には今まで以上に力を入れて欲しいです。

① 学童保育のあり方

学童保育Ⅱ放課後児童健全育成事業は、法制化されたのがほんの20年前で、児童福祉法に「小学校に就学している児童であつて、その保護者が労働等により昼間家庭にいないものに、授業の終了後に（中略）適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業」と規定されました。その後、女性の就労増加により急速に拡大したことから、位置づけや設置目的が共通認識になっていない部分もあると思い、取り上げました。

保護者から「夏休み中、午前と午後30分ずつゲームの時間がある。子供はゲーム機の内容も知らなかったが、友達が持っているのを見て毎日“買ってこれ”とせがまれるようになって困っている」との声を聞いたことがきっかけです。

館山市では、平成27年度から3年ごとの公募により選定された民間事業者に運営を委託しています。様々な事業者が各地で提案内容にしのぎを削っている中で、要望があれば遠慮なく声をあげて頂くことで、より良い内容に改善していきたいです。

◆決算認定の意義◆

鴨川市議会では、令和元年度決算が不認定となりました。決算認定は、予算の執行が適正だったかを議会が確認するものですが、不認定となっても執行された事業が無効にはなりません。

ではなぜ決算認定をするのでしょうか？それは、当初目的としていた効果が上げられているかを客観的に判断したり、反省点があればそれを今後の改善に繋げていくためです。さらに予算執行の責任者が事務処理を慎重に行うようになること、決算審査を通して財政状況を市民に知らせる、という意義もあります。

また、予定していた行財政改革が思うように進められなかったことは致し方ない面もありますが、緊急事態だからこそ、少しでも無駄な事業に時間とお金を割かなくてよいように、そして**業務委託や補助金事業に関して効果の検証や事業の見直しなど、常に意識して行つて欲しいと要望しました。**

② 市職員の職場環境の改善

市職員が心身ともに健康であり、能力が最大限に発揮できる状態で業務に従事することが、市民サービスの向上にも繋がるため、職場環境について確認しました。

約2年前に、効率的な組織・人員体制の構築を進めることを目的に「人的資源活用調査」が実施され、現在の仕事に対してやりがいや充実感を感じていない職員が約15%と示されました。この割合が2桁%になることはほとんどなく、看過できないシロッキングな結果であると言えます。

最近の監査報告書でも「**職員の意欲を引き出し、モチベーションを高める職場環境の整備に努められた**」との指摘が繰り返されています。

特に若い人達が、市民のために楽しくすんで働けるような「人材育成方針」の改定が急がれます。

